



NO. 194

2009. 8. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06 (6765) 5621 FAX 06 (6765) 5623

育成会キャンプ(お山の仲良しキャンプ) 活動報告

育成会キャンプ係

去る八月二日(日)から四日(火)までの二泊三日で、三重県伊賀市にある大阪市立伊賀青少年野外活動センターにおいて、「お山の仲良しキャンプ」を実施しました。参加者は小学生から高校生までの学齢期の参加者が二十名と支援スタッフ十三名の計三十三名です。

育成会ではかつて知的障害者のキャンプを実施していたのですが、長きにわたり中断してしまいました。しかしながら、キャンプというのは、楽しく過ごすのはもちろんのこと、よい生活習慣を身につける、仲間作りをする、親と離れて自立した生活を体験する(加えて親の子離れという面もあります)うえで最適ではないかという視点に立ち、再開する運びになりました。

全てが手探りで準備のなか、新型インフルエンザによる影響で、学生ボランティアが補講などで集まりにくい状況となりました。大阪市育成会理事であり、桃山学院大学の石田先生のお力添えがあり、事前説明会の時点ではなんとか集まって形となり、保護者・本人との情報交換などを行ない、当日へ向けてのムードも高まってきました。そう

なると後は当日のお天気が気になります。雨は想定していても、やはりせっかくなら晴れたほうが・という思いが通じたのか、直前までの濃霧がうそのように晴れ、山登りや川遊び、キャンプファイヤーなどキャンプの醍醐味を十分に満喫することが出来ました。そこで実際の活動内容をふりかえってみます。

一日目、お昼に現地に着いて、お弁当を食べた後、木のスライスで名札作りをしました。まだみんなお互い遠慮がちな様子がかがえます。一区切りついたら、少し早めの時間から夕食のカレーライスの自炊準備に取りかかりました。器用に野菜を切ったり、芽を取ったりする方がいたり、洗い物を熱心に続けるもの、スタッフと必死になつて火をおこすものと様々でしたが、徐々に仲間ともうちとけてきて、にぎやかに食事をして片付けもうまく分担しておこなっています。夜は三つのキャビンに分かれてすごしています。虫が入ってくることもありました。大阪と比べると涼しく、二段ベッドでぐっすり?休んでいます。

二日目、起床後は広場に集まって、体操をしてその後、本日の活動内容について話をします。朝食を終え、いよいよ山登りです。延々と続く上

り坂や階段道をそれぞれのペースで一步一步駆け上がっていきました。汗だくになってようやくたどりついた頂上で待つていたものは、それはそれは素晴らしい眺望でした。暑いなかではありましたが、大自然を満喫しながら美味しくお弁当を食べています。しかし登山にはもちろんのこと、下りがあります。地道に下りながら、登ってきた道の険しさを感じたりしながら戻ってくると、みなさんホッとした様子で休憩しています。各部屋に戻り一息ついたところで次は近くの川に行つて、放流しているニジマスのつかみ取りをしました。冷たい川の水が気持ちよかったです。冷たい川の水が、みなさんそれぞれ楽しんでか、みなさんそれぞれ楽しんでそうにされており、ひたすらニジマスを追いかける人や、関係なく水をかけあつてはしゃいでいる人など、時間がどんどん過ぎ行くのも忘れるくらいでした。捕った魚は現